



上対馬町鰐浦 / 韓国展望所

鳥渡る

伊藤みつ子

秋の晴鰐浦沖の韓望む  
 新羅使の出でゆきし海鳥渡る  
 彼岸花燃ゆる小茂田の古戦場  
 撫で仏撫でて安国寺の秋  
 烏賊刺しと韓歌で沸く秋の宴



福岡市西区 / 元岡古墳群 G 6 号墳

涼新た

小木曾フジエ

やまねこてふ焼酎酌めり夜半の秋  
 対岸の韓半島よ霧こめる  
 峰洞の並ぶ山裾蕎麦の花  
 銘文入り大刀出し古墳涼新た  
 歩み軽き考古学者よ白木蓮

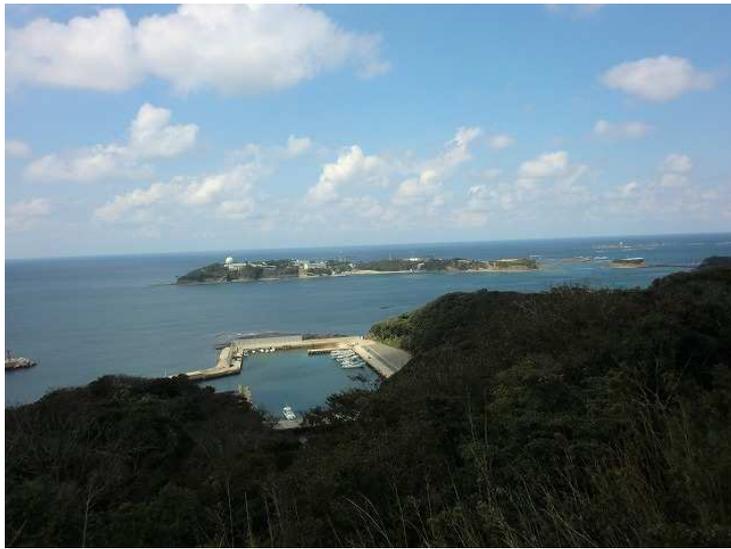


武寧王生誕の加唐島

秋夕焼

高橋孝子

切通し多き対馬よ葛の花  
 高床の穀物倉や飛蝗とぶ  
 秋冷えの石室の壁伝ひけり  
 通信使着きし港や秋思なる  
 王<sup>あ</sup>生れし島を染めたり秋夕焼



鰐浦 / 海栗島

霧流る

つのだひろこ

兵の守る国境の島霧流る

ばつた飛ぶ名護屋城跡の草叢に

元寇の首塚胴塚彼岸花

烏賊釣り舟火屋にきらりと秋日さす

島風に乗る歓声や運動会



300年忌を迎えた曾良の墓

曼珠沙華

中根多子

紀年銘の太刀出し古墳稲田風

どこまでも続く秋風浅茅湾

弥生期の野焼のごとし曼珠沙華

雨蛙弥生住居の裾に跳ぶ

秋風や崖の上なる曾良の墓



壱岐・原ヶ辻 / 弥生住居

天高し

山本玲子

この入江先は韓国天高し

海峡につづく汀の蕎麦の花

黒米の穂の垂れきつて原ヶ辻

あめ色の出土の鹿笛秋深し

環濠に火災の層や曼珠沙華